



# 「こんにちは 市長です」

8月15日号

暑い！とにかく暑い。熊谷は 39.5 度、明日の予想は 40 度を超えるとか。ちなみに中央消防署前の百葉箱は 38.1 度、正確です。少し前までは「日本一暑いまち館林」が夏の定番フレーズだった。今、館林の名前は聞かない。同じ市内で観測地点を変えただけ、それだけで気温トップクラスから陥落。アメダスなんてそんなもの、かな？

以前ほど名前を聞かないと言えば、コロナ分科会の尾身会長さん。菅内閣の時はしょっちゅうテレビに出ていたけど、最近見るのが少なくなった。分科会が以前のような機能を失ったのか、それともコロナの脅威に対する深刻さが薄れてきたのか。コロナが増えると、菅内閣は分科会に必ず諮はかった。国民に行動制限をしたりバブル方式などとおしゃれな言葉で来日したオリンピック選手の行動の規制をした。オーストラリアのソフトボール選手たちは1カ月半以上も太田で合宿していたのに練習場とホテルの往復しかできなかった。1年遅れのオリンピックは無観客にした。高校野球も部活も、あらゆるイベントは中止になった。マスクは？手洗いは？換気は？日本人は真面目だ。みんな守ってきた。なのに、である。感染者は約 20 万人／日、10 日間の隔離が必要、ざっと 200 万人が社会活動から外されるわけだ。「経済を回す」どころか社会が止まる。テレビに出るおなじみの医療関係者の論調も以前とずいぶん変わってきている

昨年、総務省幹部から「ワクチン接種率を上げてほしい」と直接電話があった。各自治体の達成率を公表して競わせた。それはそれで国の真剣さがうかがえた。今はそんな焦りもない。ワクチンの在庫も底をつく。次のテーマはワクチンではなさそうだ。(8 / 2 記)